

# デザイン総合実習I(人間情報デザインコース)

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：実習

単 位：2単位

講義時間：60時間

■**科目のねらい**：デザイン基本科目等の基礎的な知識・技術の習得を踏まえ、実験や制作などの実習を通じ、デザインに関する知識・技術をより深める。ものづくりや情報コミュニケーションといった様々なアプローチにより、デザインに必要な調査や制作手法の習得、レポート作成、プレゼンテーションなどの基礎的能力を身に付ける。

■**到達目標**：①課題発見からコンセプト立案、デザイン案の制作といった一連のプロセスを習得する。  
②ポートフォリオに自信を持って掲載可能な作品を制作する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎安齋 利典・大淵 一博

■**授業計画・内容**：

第1回 オリエンテーション／授業概要・グループ分け

●グループA（前半：安齋／後半：大淵）

- 第2回 問題点・テーマ設定
- 第3回 デザイン展開・収斂
- 第4回 コンセプトメイキング
- 第5回 モックアップ製作①
- 第6回 モックアップ製作②
- 第7回 検証とプレゼンテーション準備
- 第8回 プレゼンテーション
- 第9回 コンセプトメイキング・アイデアスケッチ
- 第10回 デザイン制作①
- 第11回 デザイン制作②
- 第12回 デザイン制作③
- 第13回 課題のまとめ（印刷物）
- 第14回 課題のまとめ（Web）
- 第15回 プレゼンテーション

●グループB（前半：大淵／後半：安齋）

- コンセプトメイキング・アイデアスケッチ
- デザイン制作①
- デザイン制作②
- デザイン制作③
- 課題のまとめ（印刷物）
- 課題のまとめ（Web）
- プレゼンテーション
- 問題点・テーマ設定
- デザイン展開・収斂
- コンセプトメイキング
- モックアップ製作①
- モックアップ製作②
- 検証とプレゼンテーション準備
- プレゼンテーション

■**教科書**：適宜資料を配布します。

■**参考文献**：「これからのメディアをつくる編集デザイン」（フィルムアート社）、「エディターズ・ハンドブック 編集者・ライターのための必修基礎知識」（雷鳥社）、「タイポグラフィ・トゥデイ：増補新装版」（誠文堂新光社）、「プロダクトデザイン」（ワークコーポレーション）、「プロダクトデザインのためのスケッチワーク」（オーム社）

■**成績評価基準と方法**：安齋担当分（50%）、大淵担当分（50%）とし、それぞれ、課題、プレゼン、大学祭における展示、授業態度、ならびに出席状況を総合的に判断して評価します。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
授業態度	○	◎	積極的な姿勢	60
課題・作品	◎	◎	課題設定、コンセプトと表現の整合性	
発表(プレゼン)	○	○	コミュニケーション能力	30
発表(展示)	○	○	展示作業への協力姿勢	
出席			全体で2/3以上の出席。かつ、前後半各7週において、それぞれ5週以上の出席。	10

■**関連科目**：情報リテラシーI・II、デザイン総合実習II～IV（人間情報デザインコース）、プロダクトデザインI・II、ビジュアルライゼーションI～III

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：2週目以降は、コース所属の学生を2グループに分けて実施します。9週目で担当教員が入れ替わり、安齋担当分7週+大淵担当分7週を行います。